

私立大学の視点から見た大学入学共通テスト

—日本私立大学協会加盟大学アンケートより—

- I 日本の高等教育を支える私立大学
- II 私立大学における入試の基本的考え方
- III センター試験の利用実態
- IV 私立大学の視点から見た英語4技能評価
- V 私立大学の視点から見た記述式問題
- VI 私立大学における施設の使用協力
- VII 私立大学から見た望ましい大学入試
- VIII 課題に対するメッセージ

令和2年3月19日

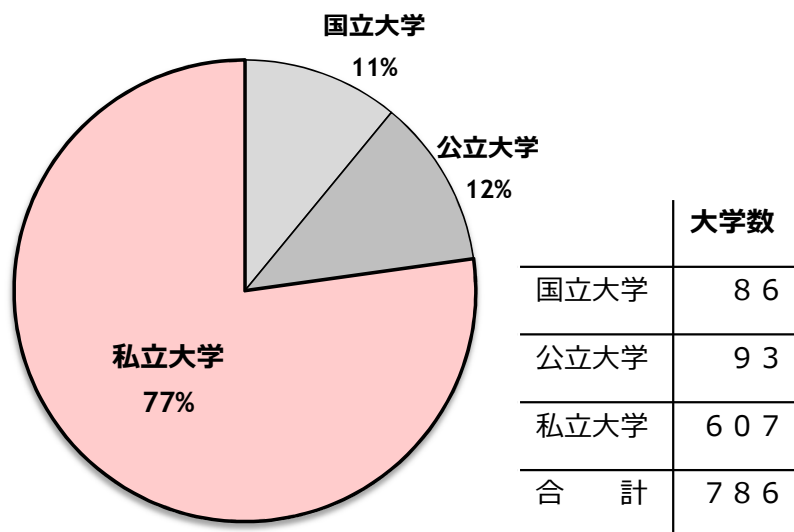
日本私立大学協会常務理事／学校法人北里研究所理事長

小林弘祐

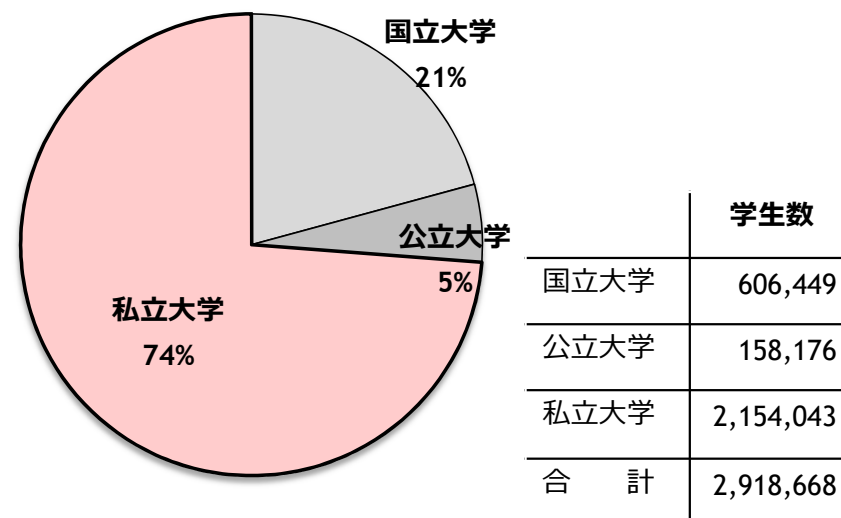
日本の高等教育を支える私立大学

■日本の大学の約77%は私立大学、大学生の約75%が私立大学生。

設置者別大学数の割合



設置者別学生数の割合



出典：文部科学省「学校基本調査（令和元年度）」

II 私立大学における入試の基本的考え方

- ①私立大学における入試とは、**建学の精神**を源泉とする**多様で特色**ある教育実践の第一歩であること。
- ②よって、私立大学における大学入試は、各私立大学の**自主性・自律性**に委ねられるべきであり、国・政府からの制約・制限は極力抑制的に考えられるべきであること。
- ③少子化時代の大学入学者選抜では、これまでの「セレクション」の視点から「**マッチング**」の視点がより重要であること。

「大学入学共通テスト」の利用に関する緊急アンケート

日本私立大学協会

- ▶ 本アンケートは、文部科学省の「大学入試のあり方に関する検討会議」の課題に対して私立大学協会としての意見表明に向けた情報収集を目的として実施。
- ▶ 期間：2020年1月27日～（一次締切1月31日）～2月7日（最終締切）
回答にバイアスをかけないため中間集計結果の開示なし
- ▶ 対象：日本私立大学協会 全加盟校404校のうち大学院大学・募集停止校を除く400校

※ アンケート（回答校数：339校 回収率84.8%）

●大学名 ●回答者名 ●部署名・連絡先（以上匿名）フェイスシート 大学属性 入学定員

現行の「大学入試センター試験」の利用状況について

Q1利用しているか？Q2利用している場合の利用方法？Q3利用している場合の入学者合計（非公表）と割合

課題1【英語4技能の評価について】

Q4令和3年度一般入試で英語4技能を評価するか？ Q5実施する場合の測定方法

Q6文部科学省で検討中の「令和6年度大学入学共通テスト」では、英語4技能について民間資格・検定試験の活用は必要か？必要と回答した場合の理由（任意で自由記載）

課題2【記述式問題について】

Q7令和3年度一般入試において、記述式問題を導入するか？Q8「令和6年度大学入学共通テスト」において、記述式問題の導入は必要か？必要と回答した場合の理由（任意で自由記載）

Q9「令和6年度大学入学共通テスト」に記述式問題が導入された場合、その採点を行うのは、次の内どこが一番適切か？

課題3【経済的な状況や居住地域、障害の有無等にかかわらず、安心して試験を受けられる配慮】

Q10安心して試験を受けられる配慮のため、大学の施設使用に協力するか？

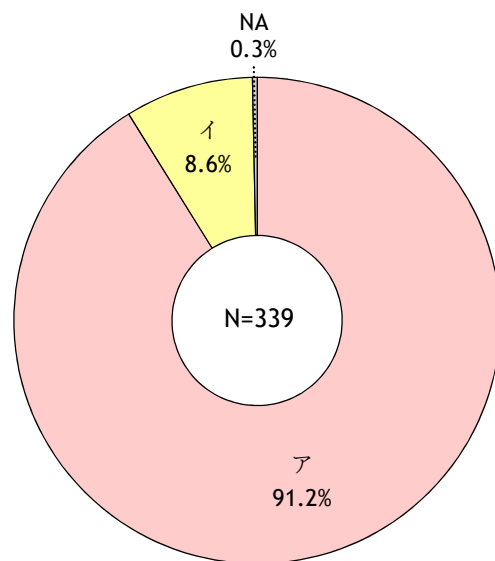
課題4【その他大学入試の望ましいあり方】

自由記述

III センター試験の利用実態

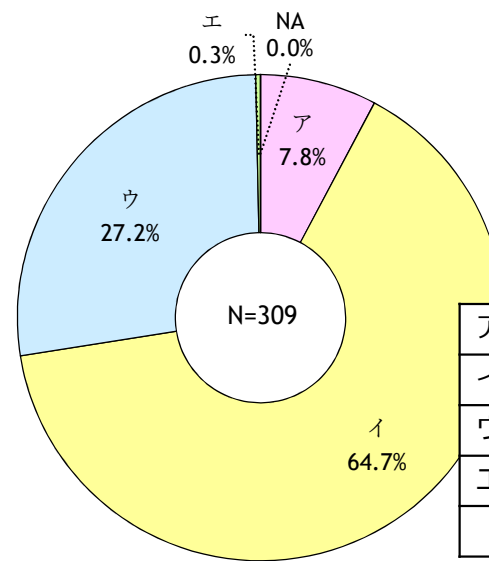
- 特徴①：センター試験を利用する加盟私立大学は90%を超える。
- 特徴②：その利用方法の多くは、センター試験のみでの合否判定。

Q1.一般試験におけるセンター試験の利用状況



ア	利用している	309
イ	利用していない	29
	NA	1

Q2.センター入試の利用方法

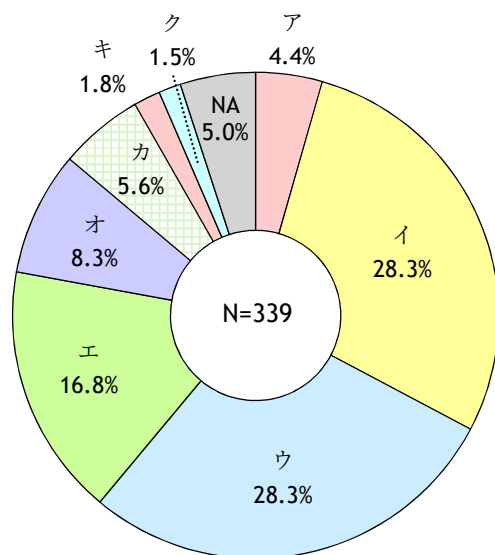


ア	個別試験との併用	24
イ	センター試験のみで合否判定	200
ウ	アとイの併用	84
エ	その他	1
	無回答	0

III センター試験の利用実態

■特徴③：AOや推薦など多様な入試を行う私大では、センター試験利用入試による入学者のウエイトは低い。

Q3.センター利用入試の入学者割合



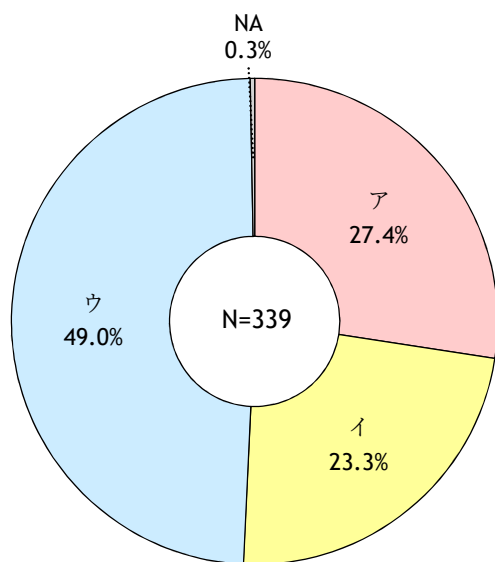
ア	1%未満	15
イ	1~5%	96
ウ	6~10%	96
エ	11~15%	57
オ	16~20%	28
カ	21~25%	19
キ	26~30%	6
ク	31%以上	5
	無回答	17

⇒私立大学における共通テストの活用は、各大学の自主性に基づき、判断されるべきであること。

IV 私立大学の視点から見た英語4技能評価

■特徴④：私立大学では各アドミッションポリシーに基づく、特色ある多様な入試を実施する中で、一般入試においても英語4技能評価を導入。

Q4.R3年度一般入試における英語4技能評価の実施



ア	実施する	93
イ	検討中	79
ウ	実施しない	166
	NA	1

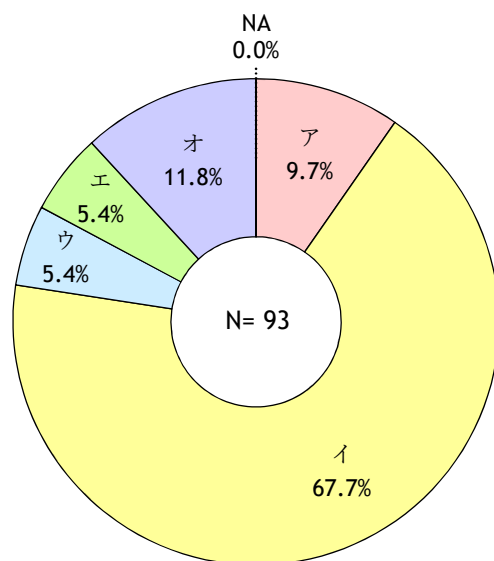
「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに関する予告」(H29.7.14)では、一般入試において英語を出題する場合、4技能評価に努めることを提言。

- 「大学入試英語提供システム」延期後も、一般入試において、加盟大学の約3割が英語4技能評価を実施。
- 検討中の約2割を含めれば、一般入試においても加盟私立大学の約5割で英語4技能評価の実施が意識されている。

IV 私立大学の視点から見た英語4技能評価

■特徴⑤：一般入試における英語4技能の測定は、民間の資格検定試験が中心（77.4%）

Q5.R3年度一般入試における英語4技能の測定方法



ア	民間の資格・検定試験（出願資格）	9
イ	民間の資格・検定試験（合否判定）	63
ウ	大学の独自試験	5
エ	検討中	5
オ	その他	11
	無回答	0

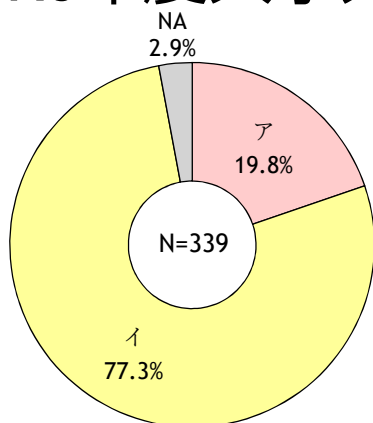
【参考】

- 一般選抜で民間試験を活用する加盟大学の割合は、21.2%（回答339校中、9+63校、Q5から算出）。
- これは国立大学（19.5%）、公立大学（5.7%）より多いが、私立大学全体（40.9%）より低い（出典：文科省 令和3年度大学入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用に関する調査結果 第2報(R2.1.10)より算出）。
- 但し、なんらかの形で4技能を評価する大学は27.4%(Q4)あり、「検討中」の大学23.3% (Q4)を加えると、加盟大学の約50%が4技能評価について、実施ないしは実施検討を行っている状況。

IV 私立大学の視点から見た英語4技能評価

■特徴⑥：多様な入試を展開する私大では、センター試験での入学者も少数であるため、入学共通テストに民間資格検定試験を活用する必要性を感じていな

Q6.R6年度大学入学共通テストでの4技能民間資格検定試験の必要性



ア	必要	67
イ	不要	262
	NA	10

■「ア. 必要」とする理由 (有効回答N=47)

- | | |
|------------------------|----------|
| ①社会や時代のニーズに対応するため | 9件 (19%) |
| ②4技能を測定する上で有効なため | 9件 (19%) |
| ③自大学での4技能実施が難しいため | 8件 (17%) |
| ④英語力を総合的に評価するため | 7件 (15%) |
| ⑤英語4技能を共通テストで測るのは困難なため | 5件 (11%) |
| ⑥その他 | 9件 (19%) |

技術的問題

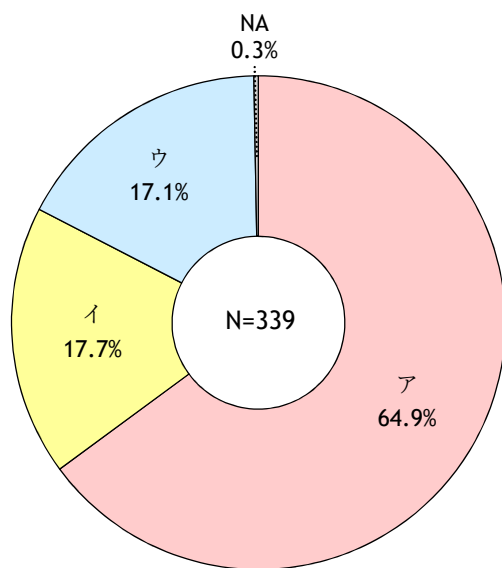
【英語4技能評価に関する所見 (自由記載を含む)】

- ①私大では一般入試においても、各APの下ですでに英語4技能に民間資格検定試験を活用。
- ②但し、多様で特色ある教育を展開する私立大学では、英語4技能評価の実施は、あくまでも各大学の自主性に基づくものであること。
- ③センター試験活用入試による入学者は少ないため、共通テストでの民間試験導入は必ずしもマストではない。

V 私立大学の視点から見た記述式問題

■特徴⑦：既に多くの私立大学において、各アドミッションポリシーに基づき、一般入試においても学力の3要素の重要性に鑑みて、記述式問題が実施されている。

Q7. R3年度一般入試における記述式問題の実施



ア	行う	220
イ	行わない	60
ウ	検討中	58
	NA	1

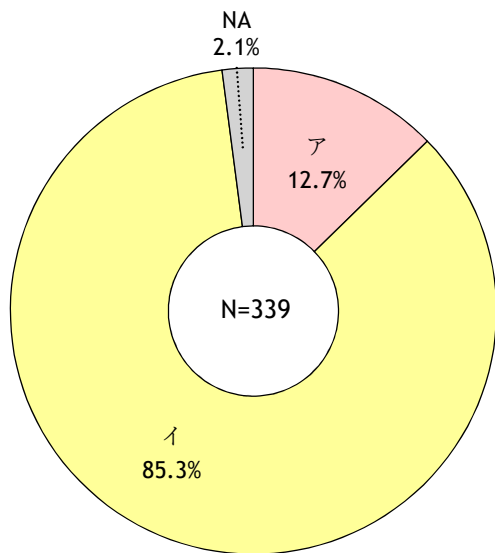
「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに関する予告」(H29.7.14)において、一般入試において記述式問題の導入・充実に取り組むことを提言。

- 大学入学共通テストの「記述式問題」延期後も、加盟大学の約65%が、一般入試において記述式問題を実施。
- 検討中の約17%を含めれば、一般入試においても加盟私立大学の約8割で、「思考力・判断力・表現力」の学力の3要素を測る記述式問題の実施が意識されている。

V 私立大学の視点から見た記述式問題

■特徴⑧：既に一般入試に記述式問題を実施し、入学共通テスト活用試験での入学者も少数である私立大学では、入学共通テストに記述式問題を出題する必要性を感じていない。

Q8. R6年度大学入学共通テストでの記述式問題の必要性



ア	必要	43
イ	不要	289
	NA	7

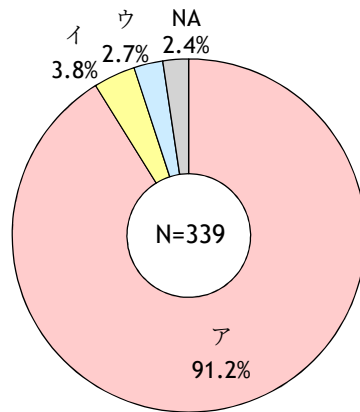
■「ア. 必要」とする理由 (有効回答N=26)

- ①思考力・判断力・表現力を測るため 18 (69%)
- ②学習指導要領に対応するため 2 (8%)
- ③高校・大学とも記述式導入に向けて準備してきたため 2 (8%)
- ④その他 4 (15%)

V 私立大学の視点から見た記述式問題

■特徴⑨：約50万人が受験する大学入学共通テストで記述式を導入するのであれば、公平性・公正性の観点から、大学入試センターでの採点が望ましい。

Q9. R6年度共通テストに記述式問題を導入する場合の採点者



ア	大学入試センター	309
イ	民間業者	13
ウ	各大学の教職員	9
	NA	8

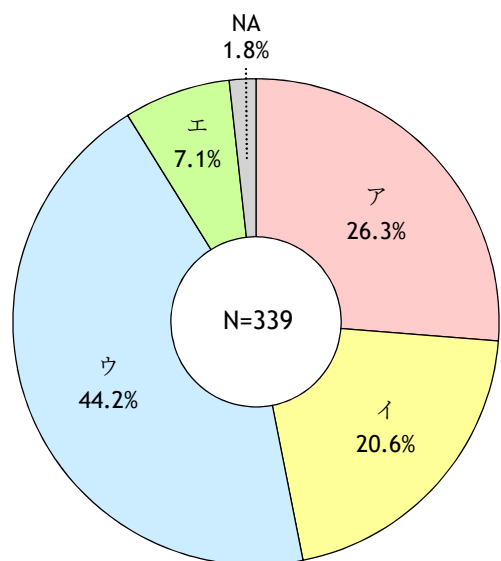
【記述式問題に関する所見（自由記載を含む）】

- ①一般入試での記述式問題の実施が65%に及ぶ私大では、**共通テストでの導入を不要**と感じている。
- ②自主性・自律性に基づく私大の学力の3要素評価では、「記述式問題」のみならず、出題の工夫や調査書等の高校提出書類の活用など、**多様な評価方法**が選択可能である。
- ③共通テストに記述式問題を導入する場合、既にタイトな入試スケジュールを一層タイトにし、私立大学の入学者確定のみならず受験生にも大きな影響を及ぼしかねない。**成績提供の早期化**が課題。

VI 私立大学における施設の使用協力

■特徴⑩：私立大学では、受験生が安心して受験できる環境整備のため、大学入学共通テストでの協力を越えて、更なる協力を表明する大学が約半数。

Q10.安心して受験できる配慮のための、大学施設の使用協力。



ア	施設に加え職員も協力	89
イ	施設使用のみ協力	70
ウ	共通テスト以上の負担は困難	150
エ	協力できない	24
	無回答	6

VII 私立大学から見た望ましい大学入試

- 私立大学における入試は、各私立大学の**自主性・自律性**に委ねられるべきこと。
- 入学者選抜は、**公平性・公正性**に最大限配慮して実施されること。

Q11.大学入試の望ましい在り方(自由記述、N=78)

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| ▶ ① 私立大学における入試は各大学の自主性に委ねる | 19件 (24%) |
| ▶ ② 公平・公正な入試の実施 | 18件 (23%) |
| ▶ ③ 共通テストは基礎的な学力確認とし、個別入試は自主性に委ねる | 5件 (6%) |
| ▶ ④ 高校での学びを保証するテストの実施 ← 議論の分かれる課題 | 4件 (5%) |
| ▶ ⑤ その他 | 32件 (42%) |

VIII 課題に対するメッセージ

課題1【英語4技能の評価について】

- ▶ すでに多くの私立大学で英語4技能の評価を行っており、主に民間の英語資格検定試験を活用している。
- ▶ したがって、**入学共通テストに新たに英語資格検定試験を活用する必要性を感じていない。**

課題2【記述式問題について】

- ▶ 記述式の評価は、すでに多くの私立大学で一般入学試験で行っている。
- ▶ したがって、**入学共通テストに新たに記述式問題を出題する必要性を感じていない大学が多い**（一部、負担軽減に希望）。

課題3【経済的な状況や居住地、障害の有無等にかかわらず、安心して試験を受けられる配慮】

- ▶ そのための施設提供を約半数の私立大学が表明しているが、約半数でセンター試験以上の負担は困難としている。
- ▶ **国としても受験生に対する支援策を検討して欲しい。**

課題4【その他大学入試の望ましいあり方】

- ▶ **私立大学における大学入試は、各私立大学の自主性・自律性に委ねられるべきである。**
- ▶ **現在のセンター試験よりも成績提供時期が遅れると、入学共通テストを利用できない私立大学が増加する。**

(個人的意見)

- 学力の3要素の到達度測定について、入学共通テストではマークシートあるいはCBTで可能な限り対応してはどうか？
- 民間資格検定試験の活用は、入学共通テストとは切り離してはどうか？
- 記述式試験については、その採否を含め、各大学の一般入試あるいは二次試験に任せてはどうか？
- 私立大学の入学試験は多様であり、入学共通テストでの民間資格検定試験の活用や記述式試験を実行するのであれば、その採否を各々の大学に任せて欲しい。